

令和七年春彼岸法要の御案内

拝啓

早春の候、お変わりございませんか。

早速ですが、来たる三月二十日（木・祝）
春彼岸法要を厳修いたします。

春彼岸の入りから明けまでの一週間は、
私たちの行の時。

行動（身）と言葉（口）、言葉に表さずとも
心での想い（意）に一層留意し、思いやりの
心、見返りを求めることがない優しい言葉、
笑顔、そして自らの心を見つめ、戒め、佛様
の智慧や心をもって物事を考えるよう、心
がけたいものです。

せめてこの期間、意識して過ごしてみま
せんか。

春彼岸法要にて日々、自らが積んだ功
徳を御先祖様方へと手向けさせていただ
く御回向。

積善の御縁、どうぞお申し付けくださ
いませ。

あわせて、木々が芽吹き、あらゆる生物が
活動し始める時節、その自然を讃え、生物
を慈しむという意味合いから、春分の日と
して国民の休日制定されています。

他の命を頂戴し生きながらえるこの身。

自然の恩恵に感謝し、少欲知足を心がけ、
家内和睦で心穏やかに過ごされますことを
念じております。

ここに春彼岸法要の御案内を申し上げます。

合掌

※御供物は三月十七日迄着にてお取りはからいくださいませ。

令和七年二月吉日

真伝不動明王寺